

特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」

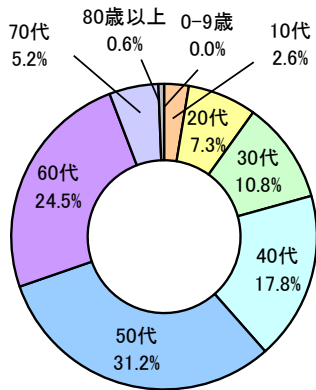
アンケート集計結果

令和7年9月9日（火）～11月30日（日）（74日間）

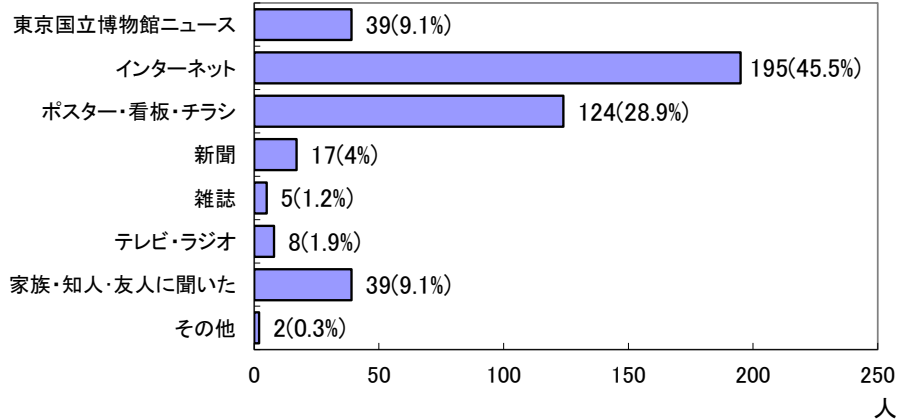
総入館者数：303,668人

回答者数：419人

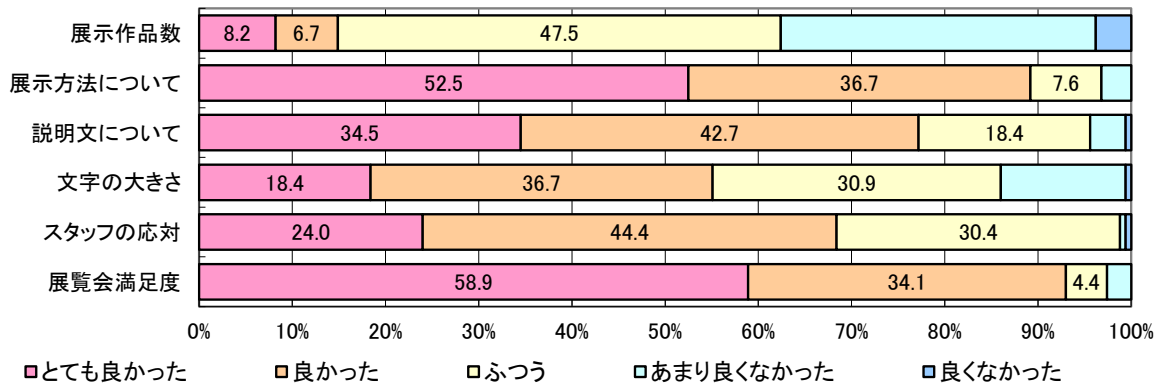
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・北円堂を再現した展示構成により、周囲360度から像を見られてよかった
- ・展示室周辺を含め、混雑対策をもう少ししてほしい
- ・解説がもう少しあるとよりよい
- ・作品保護のためとはいえ、空間が暗く感じる
- ・音声ガイドがとても良かった

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	33.8	3.8
展示方法	3.2	0.0
説明文	3.8	0.6
文字サイズ	13.4	0.6
スタッフの対応	0.6	0.6
展覧会の満足度	2.6	0.0

(%)

本展は、興福寺本尊の弥勒如来坐像、運慶晩年の傑作として知られる無著・世親菩薩立像に加えて、かつて北円堂に安置されていた可能性の高い四天王立像を合わせた7軀の国宝仏を一堂に展示し、鎌倉復興当時の北円堂内陣の再現を試みる企画です。

本館特別5室を会場とし、北円堂の再現によるレイアウトは、本堂では見られない各像の背面などを鑑賞でき、また東京にいながら現地の空間を疑似体験できるという点で高い評価をいただきました。一方で、連日の盛況に伴う会場内外での混雑対応や人流整理、作品保護と見やすさの照度バランスなど、特別5室という会場の規模感や構造とも関係して、快適な観覧環境で特別展を運営するという点では課題も見受けられ、また、国宝とはいえ展示点数が絞られているために、満足度は高いものの展示作品数については物足りなさが残るとの意見もありました。

北円堂再現の好評ぶりやジオラマ・解説への要望など、鑑賞体験や理解を助ける取り組みにはおしなべて好意的・要望的なお声が寄せられていることから、作品自体の鑑賞と併せて「わかる」ためガイドの多寡も、特別展の満足度に寄与している可能性が示唆されます。

今回のアンケート結果も参考に、引き続きよりよい展示および観覧環境の提供に努めてまいります。